

領ノ止ムナキヲ言ヒ後ノ糾釐手當ニ十四日分トシテ全山ノ融
通不可能ニツキ左序製米ノ提供ハマニ付テ知分マシテ度シ
ト述ヘル末支拂ヲ重米店ルモ結局工場正序京ヒサレハ具体化
ヒサル模様ナリ

二 勞働者側

前日午後三時島町ニハニル山ノ守燈夫方ノ辛澁団本部トシ組合
本部員等ノ指導ノ下ニ結束シテメ工場主代理ト再三交渉シ重
キタルモ其ノ都度決裂ニ終リ結局工場主ノ帰京ヲ待ツテ直接
交渉ス、シトシ二十四日ニ火ニ工場所領及対外八項ノ追加要
求ヲ提出セリ尚本月廿四日ノ一辛澁資金調達ノ為メ行商ヲ開
始セリ
右及中(通)休也

勞務第七八五號

昭和六年三月五日

警視總監 元山 鶴吉

内務大臣 安達 謙藏 殿
社会 局長 官 殿

日赤ケース製作所勞働者議ニ関スル件

(第三罪——解決)

既報標記ノ勞働者議ハ本月三日午後八時労資会見種々
折衝ノ結果左記覚書ノ通り系滿解決セリ

記

覚書

一 壹七百系也